

令和5年度

一般選抜追試験 受験案内

令和5年2月

北海道教育大学

令和5年度 北海道教育大学一般選抜 追試験 日程等

区分	検査日等	合格発表日	入学手続期間	備考
一般選抜 (追試験)	令和5年3月22日(水)	令和5年3月26日(日)	令和5年3月26日(日) ～3月30日(木)	

入学試験等に関する問合せ先

修学校	郵便番号	所在地	入学試験関係	
			担当	電話番号
札幌校	002-8502	札幌市北区あいの里 5条3丁目1番5号	入試課	011-778-0274
旭川校	070-8621	旭川市北門町9丁目	教育支援グループ	0166-59-1223
釧路校	085-8580	釧路市城山1丁目 15番55号	教育支援グループ	0154-44-3230
函館校	040-8567	函館市八幡町1番2号	教育支援グループ	0138-44-4370
岩見沢校	068-8642	岩見沢市緑が丘2丁目 34番地1	教育支援グループ	0126-32-1348

災害等による選抜方法等の変更について

この学生募集要項発行後、災害発生や治療法が確立していない感染症の拡大等に伴い、やむを得ず、試験日程や選抜方法等を変更する場合があります。

出願受付期間終了後、上記の変更を行う場合、志願者への個別連絡のほか、本学ホームページ「入試情報」(<https://www.hokkyodai.ac.jp/exam/>)で変更内容をお知らせしますので、最新の情報を確認するようご注意願います。



目 次

1	実施専攻等	1
2	受験対象者等	2
3	入学者選抜の方法等	2
4	面接（国際地域学科－函館校は口述試験）・実技検査等について	4
5	合格基準	1 2
6	試験日程	1 3
7	受験上の注意	1 3
8	試験会場	1 6
9	合格者の発表	1 6
1 0	入学手続	1 6
1 1	受験に関する問合せ	1 7
1 2	その他	1 7
	試験会場位置図	1 8

1 実施専攻等

学部・課程・学科・修学校・専攻・分野・グループ・コース				
教育学部	教員養成課程	札幌校	学校教育専攻	
			特別支援教育専攻	
			言語・社会教育専攻	
			理数教育専攻	
			生活創造教育専攻	
			芸術体育教育専攻	図画工作・美術教育分野
				音楽教育分野
		保健体育教育分野		
		養護教育専攻		
		旭川校	教育発達専攻	
			国語教育専攻	
			英語教育専攻	
			社会科教育専攻	
			数学教育専攻	
	理科教育専攻			
	生活・技術教育専攻			
	芸術・保健体育教育専攻		音楽分野	
			美術分野	
		保健体育分野		
	釧路	地域学校教育実践専攻		
	国際地域学科	函館校	地域協働専攻	国際協働グループ
				地域政策グループ
				地域環境科学グループ
		地域教育専攻		
	芸術・スポーツ文化学科	岩見沢校	芸術・スポーツビジネス専攻	
			音楽文化専攻	声楽コース
				鍵盤楽器コース
作曲コース				
管弦打楽器コース				
音楽教育・音楽文化コース				
美術文化専攻				
スポーツ文化専攻			スポーツ・コーチング科学コース	
	アウトドア・ライフコース			

2 受験対象者等

(1) 追試験受験の対象となる者

本学の一般選抜（前期日程）又は一般選抜（後期日程）に志願した者のうち、以下に該当し、志願者本人又は代理人からの申請に基づき、本学各校キャンパス長が受験を許可した者が追試験受験の対象者となります。

- ① 新型コロナウイルス感染症に罹患し、前期日程又は後期日程の試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の者
- ② 前期日程又は後期日程の試験日前日までに保健所等から濃厚接触者に該当するとされる者で、「令和5年度大学入学者選抜に係る新型コロナウイルス感染症に対応した試験実施のガイドライン（令和4年6月3日大学入学者選抜協議会決定）」における受験を認める要件を満たしていない者
- ③ 海外から日本に入国し、入国後の待機期間中にある者
- ④ 前期日程又は後期日程の試験日において、学校保健安全法施行規則第18条に定める感染症（インフルエンザ等）にかかり、同規則第19条に定める出席停止期間を経過していない者
- ⑤ 38.0度以上の高熱の症状がある者
- ⑥ 発熱・咳等の症状があり、前期日程又は後期日程の試験当日の検温で37.5度以上の熱がある者
- ⑦ 基礎疾患があり前期日程又は後期日程の試験当日に息苦しさ等の症状がある者
- ⑧ 前期日程又は後期日程の試験当日において、明らかに激しい咳を何度もしていることなど、監督者等により症状が他の受験者に影響があると判断されたが、別室での受験ができない者

(2) 受験票の取扱い

- ① 受験票は一般選抜（前期日程）又は一般選抜（後期日程）と同一の受験票を利用します。
- ② 試験当日は、「**受験票**」「**大学入学共通テスト受験票**」「**追試験受験許可書**」及び志望校（修学校）から指示されたものを必ず持参してください。
- ③ 「大学入学共通テスト受験票」は、入学手続の際に必要となりますので、大切に保管してください。

(3) 第二志望の取り扱い

教員養成課程－札幌校・旭川校、国際地域学科－函館校－地域協働専攻の前期日程又は芸術・スポーツ文化学科－岩見沢校－音楽文化専攻の前期日程に出願した者で、第一志望とともに第二志望を選択した場合、追試験では、第一志望に限り判定を行います。

※第二志望として選択した専攻・グループ・コースでは合格の対象となりません。

3 入学者選抜の方法等

入学者の選抜は、大学入学共通テスト・個別学力検査等の成績及び調査書等の内容を総合して判定を行います。

(1) 大学入学共通テストの受験教科・科目の取扱いについて

令和5年度学生募集要項（一般選抜）を確認してください。

(2) 個別学力検査等について

課程・学科	修学校	専攻・分野		追試験	配点		
				個別学力検査等の教科・科目			
				実技・面接	大学入学 共通テスト	個別 学力検査	
教員養成課程	札幌校	学校教育専攻		面接	900	300	
		特別支援教育専攻		面接			
		言語・社会教育専攻		面接			
		理数教育専攻		面接			
		生活創造教育専攻		面接			
		芸術体育 教育専攻	図画工作・美術教育分野			実技・面接	400
			音楽教育分野			実技・面接	
			保健体育教育分野			実技・面接	
教員養成課程	旭川校	養護教育専攻		面接	900	300	
		教育発達専攻		面接			
		国語教育専攻		面接			
		英語教育専攻		面接			
		社会科教育専攻		面接			
		数学教育専攻		面接			
		理科教育専攻		面接			
		生活・技術教育専攻		面接			
		芸術・保健 体育教育専攻	音楽分野				実技・面接
			美術分野				実技・面接
	保健体育分野		実技・面接				
釧路校	地域学校教育実践専攻		面接				
国際地域学科	函館校	国際協働グループ	地域協働専攻	口述試験	1000	200	
			地域政策グループ	口述試験	900	200	
			地域環境科学グループ	口述試験	900	200	
		地域教育専攻		口述試験	900	300	
芸術・スポーツ文化学科	岩見沢校	芸術・スポーツビジネス専攻		面接	700	700	
		音楽文化専攻	声楽コース		実技・面接 ^{※1}	500	1000
			鍵盤楽器コース		実技・面接 ^{※1}		
			作曲コース		実技・面接 ^{※1}		
			管弦打楽器コース		実技・面接 ^{※1}		
			音楽教育・音楽文化コース		実技・面接 ^{※1}		
		美術文化専攻		実技・面接 ^{※2}	500	500	
スポーツ 文化専攻	スポーツ・コーチング科学コース		実技・面接 ^{※3}	700	600		
	アウトドア・ライフコース		実技・面接 ^{※4}	700	600		

※1 ソルフェージュ 200点, 主実技 600点, 面接 200点

※2 実技 300点, 面接 200点

※3 実技 300点, 面接 300点

※4 実技 100点, 面接 500点

4 面接（国際地域学科－函館校は口述試験）・実技検査等について

(1) 面接（国際地域学科－函館校は口述試験）

課程・学科・修学校等	出題（実施）方針／出題（実施）内容
教員養成課程 札幌校	《出題方針》 問われた内容について、話すことで、いかに「伝達」できるかという「表現能力（伝達表現能力）」をはかることとする。
学校教育専攻 特別支援教育専攻 言語・社会教育専攻 理数教育専攻 生活創造教育専攻	《試験方法》 個人面接／15分程度／面接員複数 ※ ただし、受験者が多い場合には、複数の班に分けて面接を行うことがある。口頭試問を含む。 《評価基準》 教師としての基本的資質（教職への意欲、得意分野の知識・能力を含む。）
芸術体育教育専攻 図画工作・美術教育分野 音楽教育分野 保健体育教育分野 養護教育専攻	《試験方法》 個人面接／15分程度／面接員複数 ※ ただし、受験者が多い場合には、複数の班に分けて面接を行うことがある。口頭試問を含む。 《評価基準》 目的意識及び入学後の勉学意欲、専攻に適した資質と能力等を評価する。
教員養成課程 旭川校	《出題方針》 問われた内容について、話すことで、いかに「伝達」できるかという「表現能力（伝達表現能力）」をはかることとする。
教育発達専攻 国語教育専攻 英語教育専攻 社会科教育専攻 数学教育専攻 理科教育専攻 生活・技術教育専攻	《試験方法》 個人面接／15分程度／面接員複数 ※ ただし、受験者が多い場合には、複数の班に分けて面接を行うことがある。口頭試問を含む。 《評価基準》 教師としての基本的資質（教職への意欲、得意分野の知識・能力を含む。）
芸術・保健体育教育専攻 音楽分野	《試験方法》 個人面接／15分程度／面接員複数 ※ ただし、受験者が多い場合には、複数の班に分けて面接を行うことがある。口頭試問を含む。 《評価基準》 教師としての基本的資質（教職への意欲、得意分野の知識・能力を含む。）
美術分野	《試験方法》 個人面接／15分程度／面接員複数 ※ ただし、受験者が多い場合には、複数の班に分けて面接を行うことがある。口頭試問を含む。 《評価基準》 教師としての基本的資質（教職への意欲、得意分野の知識・能力を含む。）
保健体育分野	《試験方法》 個人面接／15分程度／面接員複数 ※ ただし、受験者が多い場合には、複数の班に分けて面接を行うことがある。口頭試問を含む。 《評価基準》 目的意識及び入学後の勉学意欲等を評価する。
教員養成課程 釧路校	《出題方針》 問われた内容について、話すことで、いかに「伝達」できるかという「表現能力（伝達表現能力）」をはかることとする。
地域学校教育実践専攻	《試験方法》 個人面接／15～20分程度／面接員複数 ※ ただし、受験者が多い場合には、複数の班に分けて面接を行うことがある。 《評価基準》 以下の観点について、総合的に評価する。 <ul style="list-style-type: none"> ・へき地・小規模校教育等への関心と意欲 ・人間関係形成能力・コミュニケーション能力等の将来教員になるにふさわしい資質 ・教職への目的意識（進学目的・志望動機）と学習意欲 ・地域の学校教育や活動、環境に対する関心や理解 ・教科に対する興味・関心 ・一般常識や自己表現力

課程・学科・修学校等	出題（実施）方針／出題（実施）内容
国際地域学科 函 館 校	《出題方針》 各グループを志望するに当たっての目的意識や入学後の学習意欲、本人の資質等を見ることを目的とする。
地域協働専攻 国際協働グループ 地域政策グループ 地域環境科学グループ	《試験方法》 口述試験／15分程度／口述試験員複数 ※ ただし、受験者が多い場合には、複数の班に分けて行うことがある。 《評価基準》 各グループを志望するに当たっての目的意識、入学後の学習意欲及び本人の資質等を評価する。
地域教育専攻	《試験方法》 口述試験／15分程度／口述試験員複数 ※ ただし、受験者が多い場合には、複数の班に分けて行うことがある。 《評価基準》 地域教育専攻を志望するに当たっての目的意識、入学後の学習意欲及び本人の資質等を評価する。
芸術・スポーツ文化学科 岩 見 沢 校	《出題方針》 志望動機、活動経験、将来展望、意欲、芸術、スポーツへの考え方や知識などを問い、本人の資質等を見ることを目的とする。
芸術・スポーツビジネス専攻	《試験方法》 個人面接／30分程度／面接員複数（口頭試問を含む。） ※ ただし、受験者が多い場合には、複数の班に分けて面接を行うことがある。 《評価基準》 志望動機、目的意識、将来への展望、質問内容に即した解答の的確性、一般常識や面接態度等を総合的に評価する。
音楽文化専攻 声楽コース 鍵盤楽器コース 作曲コース 管弦打楽器コース 音楽教育・音楽文化コース	《試験方法》 個人面接／15分程度／面接員複数 ※ ただし、受験者が多い場合には、複数の班に分けて面接を行うことがある。 《評価基準》 ・目的意識及び入学後の勉学意欲をみる。 ・専攻や音楽技術についての意欲や関心を問う。
美術文化専攻	《試験方法》 個人面接／15分程度／面接員複数 ※ただし、受験者が多い場合には、複数の班に分けて面接を行うことがある。 《評価基準》 目的意識及び入学後の勉学意欲、美術文化についての興味、関心に加え、コミュニケーション能力や面接態度などを総合的に評価する。
スポーツ文化専攻 スポーツ・コーチング科学コース アウトドア・ライフコース	《試験方法》 個人面接／スポーツ・コーチング科学コースは15分程度、アウトドア・ライフコースは30分程度（口頭試問を含む。）／面接員複数 ※ ただし、受験者が多い場合には、複数の班に分けて面接を行うことがある。 《評価基準》 志望動機、活動経験、将来展望などに加え、コミュニケーション能力や面接態度などを総合的に評価する。

教員養成課程における面接（口頭試問を含む。）の内容について

修学校	専攻・分野名	面接（口頭試問を含む。）の内容	
札幌校	学校教育専攻	子どもの発達, 学習, 教育に関する現代的課題についての基礎的な知識及び興味・関心について問う。	
	特別支援教育専攻	特別支援教育や障害のある人々についての興味・関心及び現代的課題について問う。	
	言語・社会教育専攻	所属を希望する教科に関する基礎的な知識及び学校教育全般への興味・関心について問う。	
	理数教育専攻	数学・理科に関する基礎的な知識及び興味・関心について問う。	
	生活創造教育専攻	1. 技術科又は家庭科に関する基礎的な知識及び興味・関心について問う。 2. 持続可能な社会の実現に向けた教育のあり方についての考えを問う。	
	芸術体育教育専攻	図画工作・美術教育分野	図画工作及び美術教育への基礎的な知識, 及び興味・関心について問う。
		音楽教育分野	音楽の基礎的な知識, 及び音楽と教育への興味・関心について問う。
保健体育教育分野		子どもの体力・運動能力, 健康および競技スポーツ等に関する教育的な現代的課題についての基礎的な知識, 及び興味・関心を問う。	
養護教育専攻	高等学校学習指導要領に示されている保健の内容にかかわって, 人々の健康課題についての基礎的な知識及び興味・関心について問う。		
旭川校	教育発達専攻	子どもの発達, 学習, 教育に関する現代的課題についての基礎的な知識及び興味・関心について問う。	
	国語教育専攻	国語に関する基礎的な知識及び国語教育に対する興味・関心について問う。	
	英語教育専攻	英語に関する基礎的な知識及び英語教育に対する興味・関心について問う。また, 口頭により英語コミュニケーション能力を測る。	
	社会科教育専攻	社会科（地理・歴史, 公民）及び社会的な事象に関する基礎的な知識及び社会科教育に対する興味・関心について問う。	
	数学教育専攻	数学 I, A, II, B までの範囲の問題を通して, 解決過程における考え方について問う。	
	理科教育専攻	理科に関する基礎的な知識及び理科教育に対する興味・関心について問う。	
	生活・技術教育専攻	技術分野, 家庭分野に関する基礎的な知識, 経験及び興味・関心について問う。	
	芸術・保健体育教育専攻	音楽分野	音楽に関する基礎的な知識及び音楽教育に対する興味・関心について問う。
美術分野		美術に関する基礎的な知識及び美術教育に対する興味・関心について問う。	
保健体育分野		体育・スポーツ・健康に関する基礎的な知識及び興味・関心について問う。	

(2) 実技検査等の内容

教員養成課程－札幌校－芸術体育教育専攻

① 図画工作・美術教育分野

素描 鉛筆による素描（構成に至った説明の記入時間を含めて3時間で行う。用紙のサイズは、B3とする。）

：与えられたモチーフのうち2つ以上を構成し、画用紙に描画し、モチーフを構成した意図等の説明（400字～800字）を所定用紙に記入するものとする。モチーフは以下のとおりとする。

- ・自分の手（手首から指先までの部分を含む）
- ・静物（瓶、ペットボトル、コップなどの透明なもの）
- ・静物（果物または野菜）

※鉛筆デッサン用具一式（鉛筆、消しゴムなど）を持参すること。

② 音楽教育分野

検 査 科 目	
1	<p>歌唱（全員）</p> <p>以下の小学校歌唱共通教材の中から、1曲（検査時に示された曲）を無伴奏で歌唱すること。いずれも2番まで歌唱すること。なお、暗譜の必要はない。</p> <p>「ふじ山」……………（文部省唱歌）：ハ長調 「まきばの朝」……………（文部省唱歌）：ハ長調 「こいのぼり」……………（文部省唱歌）：ヘ長調 「冬げしき」……………（文部省唱歌）：ヘ長調 「おぼろ月夜」……………（文部省唱歌）：ハ長調 「われは海の子」……………（文部省唱歌）：ニ長調</p>
2	<p>器楽演奏（全員）</p> <p>(1) アルトリコーダーまたはソプラノリコーダー（注1）</p> <p>以下の中学校歌唱共通教材から任意に選択した曲を、無伴奏で演奏すること。いずれも1番のみ演奏すること。なお、暗譜の必要はない。</p> <p>「赤とんぼ」…………… 三木露風作詞／山田耕筰作曲：変ホ長調 「早春賦」…………… 吉丸一昌作詞／中田 章作曲：変ホ長調 「夏の思い出」…………… 江間章子作詞／中田喜直作曲：ニ長調 「花」…………… 武島羽衣作詞／滝廉太郎作曲：ト長調 「花の街」…………… 江間章子作詞／團伊玖磨作曲：ヘ長調 「浜辺の歌」…………… 林 古溪作詞／成田為三作曲：ヘ長調</p> <p>(2) ピアノ（注2）</p> <p>J.S.バッハ シンフォニア 第1番 BWV787～第15番 BWV801（但し、第5番 BWV791は除く）の中から、任意の1曲を演奏すること。なお、暗譜の必要はない。</p> <p>(注1) 選択した曲の楽譜のコピーは、すでに提出されているため、改めて提出する必要はない。また、検査時にはリコーダーを持参すること。</p> <p>(注2) 選択した曲の楽譜のコピーは、すでに提出されているため、改めて提出する必要はない。</p> <p>(※ 上靴を持参すること)</p>

③ 保健体育教育分野


以下の2領域からそれぞれ1種目（計2種目）を課す。

検 査 科 目		
領 域	種 目	実 施 法
器械運動	マット運動 及び 鉄棒	全受験生必須
陸上競技	ハードル走	全受験生必須

※ 全ての種目を体育館で実施する。運動ができる服装と体育館用シューズを準備すること。

教員養成課程—旭川校—芸術・保健体育教育専攻

① 音楽分野

検 査 科 目	
1	<p>ソルフェージュ (全員)</p> <p>新規視唱 (下の出題例程度の与えられた旋律の視唱)</p> <p>《譜例》</p> <div style="text-align: center;">  </div>
2	<p>楽曲演奏</p> <p>ピアノ, 声楽, 管楽器のうち, <u>いずれか二つ</u>を選んで演奏すること。</p> <p>なお, 暗譜の必要はない。</p> <p>○ピアノ</p> <p>任意に選択した楽曲1曲 (ソナタ, ソナチネ等は任意の一 (ひと) 楽章) を演奏すること。</p> <p>○声楽 (注1)</p> <p>日本歌曲の中から任意の1曲, イタリア歌曲又はドイツ歌曲の中から任意の1曲を選択し, 合計2曲を演奏すること。なお, 楽曲の調性は自由とする。</p> <p>「日本歌曲」</p> <p>荒城の月..... 滝 廉太郎 (2番まで)</p> <p>早春賦..... 中田 章 (2番まで)</p> <p>浜辺の歌..... 成田 為三 (2番まで)</p> <p>さびしいカシの木 (「愛する歌」より) 木下 牧子</p> <p>「イタリア歌曲」</p> <p>Intorno all' idol mio Cesti</p> <p>Lasciar d' amarti Gasparini</p> <p>Caro mio ben Gipsdani</p> <p>「ドイツ歌曲」</p> <p>Ich liebe dich Beethoven</p> <p>Heidenröslein Schubert</p> <p>○管楽器 (注2)</p> <p>任意に選択した楽曲1曲 (楽章が分かれている場合は, 任意の一 (ひと) 楽章) を伴奏なしで演奏すること。</p> <p>(注1) 声楽の伴奏用楽譜については, 前期日程の出願時に提出されたものを使用する。</p> <p>(注2) 管楽器は, 次の範囲とする。</p> <p>フルート, オーボエ, クラリネット, サクソフォーン, ファゴット, ホルン, トランペット, トロンボーン, バストロンボーン, ユーフォニアム, テューバ</p> <p>(ただし, オーケストラや吹奏楽で使用されている管楽器であれば, 上記指定楽器以外の楽器も受験の際の代替楽器として認める。)</p> <p>(※ 上靴を持参すること)</p>

② 美術分野

検 査 科 目	
	<p>素 描 鉛筆による素描 (3時間で行う。) モチーフは静物。用紙の大きさは, およそ 515mm×364mm</p> <p>※ 鉛筆デッサン用具一式を持参すること。</p>

③ 保健体育分野

検 査 科 目
日本スポーツ協会策定の運動能力テスト（立ち幅とび，上体起こし，腕立伏臥腕屈伸，時間往復走，5分間走）を実施する。

芸術・スポーツ文化学科－音楽文化専攻

検 査 科 目

- 1 ソルフェージュ（全員）
 - (1) 単旋律の聴音（8小節程度）
 - (2) 新曲視唱（与えられた旋律の視唱）
- 2 主実技（次の（1）～（5）の中から一つのコースを選択すること。）
 - (1) 声楽コース

自由曲 任意に選択した2曲を提出し、暗譜で歌唱すること。（演奏時間は1曲につき 3分以内の目途とする。）

（注）伴奏用楽譜を入学志願票とともに提出すること。
 - (2) 鍵盤楽器コース

自由曲 任意に選択した1曲を暗譜で演奏すること。

ソナタであれば一（ひと）楽章。（繰り返しはしない。）

（注）試験監督の指示により演奏の途中で切ることがあるが、志願者の評価に不利になるものではない。
 - (3) 作曲コース

ア モチーフを与えての任意の編成、任意の様式による作曲。

試験所要時間3時間、試験中はピアノが与えられる。

イ 和声バス課題（非和声音を含まない。転調を含む。）
 - (4) 管弦打楽器コース
 - ① 木管楽器・金管楽器

ア 音階 すべての管楽器は、譜例に従い長調全調から当日指定された調を暗譜で演奏すること。

なお管楽器のアーティキュレーションは、スタカート、テヌート、レガートから当日指定する。（譜例は、11ページの譜例集①による）

イ 自由曲 任意に選択した1曲を暗譜で演奏すること。（エチュードは除く。）

（注）試験監督の指示により演奏の途中で切ることがあるが、志願者の評価に不利になるものではない。

（注）同属の代替楽器での受験を認める場合がある。詳細は問い合わせること。
 - ② 弦楽器

ア 音階 ヴァイオリンは、音階Carl Flesch：Scale Systemからニ長調第5番又はロ短調第5番のどちらかを当日指定する。指定された音階を暗譜で演奏すること。運弓法（ボーイング）は、ハ長調第5番に準ずること。

ヴィオラ、チェロ、コントラバスは、 \sharp ・ \flat 二つまでの長調、短調（和声的短音階）の音階を譜例に従い暗譜で演奏すること。調は当日指定する。（譜例は11ページの譜例集②、③、④による。）

イ 自由曲 任意に選択した1曲を暗譜で演奏すること。（エチュードは除く。）

（注）試験監督の指示により演奏の途中で切ることがあるが、志願者の評価に不利になるものではない。

（注）ヴィオラ志願者はヴァイオリンで受験することができる。その場合は、志願票の楽器名はヴィオラと記載し、ア及びイの試験はヴァイオリンの課題曲を演奏する。
 - ③ 打楽器（小太鼓、マリンバの中から一つを選択）

ア 基礎課題

 - ・小太鼓： 基礎打ち 1つ打ち、2つ打ち、5つ打ち、7つ打ち、9つ打ち、ロール打ち（ $pp < ff > pp$ ）の中から当日指定する。
 - ・マリンバ： 長調全調の音階を譜例に従い、暗譜で演奏すること。調は当日指定する。（譜例は11ページの譜例集⑤による。）

イ 自由曲 任意に選択した1曲を暗譜で演奏すること。（エチュードは除く。）

（注）試験監督の指示により演奏の途中で切ることがあるが、志願者の評価に不利になるものではない。

（注）小太鼓は各自持参すること。ただし、マリンバ（4オクターブ）は、本学で楽器を用意する。

※ ①～③の主実技試験は、全て伴奏なしで行う。
- (5) 音楽教育・音楽文化コース

・自由曲の暗譜での演奏（ピアノ、声楽、和楽器、民族楽器の中から一つを選んで演奏すること。）

- 注：①楽器はピアノのみ大学で準備する。その他の楽器については持参すること。なお、大規模な楽器の搬入のために助手を同行することや本学で助手を用意することはできない。
- ②声楽の場合は、伴奏用楽譜を入学志願票とともに提出すること。
- ③声楽以外は独奏とする。
- ④ピアノの場合、ソナタであれば、一（ひと）楽章を暗譜で演奏すること。
- ⑤自作作品の演奏や弾き語りも可能である。自作作品は、楽譜を入学志願票とともに提出すること。なお、弾き語りは、ピアノで又はピアノの代替楽器として和楽器、民族楽器を伴奏楽器に使っての歌唱も認める。
- ⑥入学志願票に、曲名、作曲者名を記入すること。
- ⑦試験監督の指示により演奏途中で切ることがあるが、志願者の評価に不利になるものではない。

《管楽器、弦楽器及び打楽器の譜例》

①木管楽器・金管楽器



初めから終わりまで一息で演奏すること。
ダイナミクス及びテンポは自由。

②ヴィオラ



③チェロ



④コントラバス



⑤マリンバ



芸術・スポーツ文化学科－美術文化専攻

検 査 科 目
<p>・デッサン 3時間</p> <p>※持参するもの（指定されている物以外は使用できません）</p> <p>筆記用鉛筆（黒色 HB）、消しゴム、木炭デッサン用具（木炭、芯抜き、練り消しゴム、食パン、ガーゼ、擦筆、ティッシュペーパー、カッターナイフ、紙ヤスリ）または 鉛筆デッサン用具（各種黒色濃度の画用鉛筆、練り消しゴム、ガーゼ、擦筆、ティッシュペーパー、カッターナイフ、紙ヤスリ）、時計（アラーム機能のないもの）</p> <p>※木炭デッサン用具と鉛筆デッサン用具は併用可とする</p>

芸術・スポーツ文化学科－スポーツ文化専攻

実技1 基礎運動能力検査

<p>ボール投げ : バasketボールを、頭上を通過させながら、前方に両手で投げる。</p> <p>連続交互跳び : 立ち5段跳びを行う。</p> <p>方向変換走 : 1辺6mの正方形の頂点間を、方向を変えながら走る。</p>

5 合格基準

修 学 校	合格の基準
札幌校 旭川校 釧路校	<p>合格の基準</p> <p>(1) 選抜の単位 募集単位である各専攻を選抜の単位とするが、札幌校の「芸術体育教育専攻」、旭川校の「芸術・保健体育教育専攻」にあつては、各分野を選抜の単位とする。</p> <p>(2) 選抜の方法 大学入学共通テスト、個別学力検査等の成績及び調査書等の内容を総合して、総合得点順に選抜する。</p> <p>(3) 合格最下位同点時の合格者の取扱い 総合得点と同順位の場合は、全員を合格者とする。</p>
函館校	<p>合格の基準</p> <p>(1) 選抜の単位 募集単位である各専攻・グループを選抜の単位とする。</p> <p>(2) 選抜の方法 大学入学共通テスト、個別学力検査等の得点と調査書の内容を総合して合格者を決定する。</p> <p>(3) 合格最下位同点時の合格者の取扱い 総合得点と同順位の場合は、全員を合格者とする。</p>
岩見沢校	<p>合格の基準</p> <p>(1) 選抜の単位 募集単位である各専攻又は各コースを選抜の単位とする。</p> <p>(2) 選抜の方法 以下の専攻について、大学入学共通テスト、個別学力検査等の成績及び調査書等の内容を総合し選抜する。</p> <p>① 芸術・スポーツビジネス専攻 総合得点の高得点順に選抜する。</p> <p>② 音楽文化専攻 コースにかかわらず、高得点順に選抜する。</p>

	<p>③ 美術文化専攻 総合得点の高得点順に選抜する。</p> <p>④ スポーツ文化専攻 コースごとに総合得点の高得点順に選抜する。</p> <p>(3) 合格最下位同点時の合格者の取扱い</p> <p>① 芸術・スポーツビジネス専攻 面接得点の上位者を合格者とする。その同点者は全員を合格者とする。</p> <p>② 音楽文化専攻 主実技検査得点の上位者を合格者とする。その同点者は全員を合格者とする。</p> <p>③ 美術文化専攻 実技検査得点の上位者を合格者とする。その同点者は全員を合格者とする。</p> <p>④ スポーツ文化専攻 コースごとに大学入学共通テスト得点の上位者を合格者とする。その同点者は全員を合格者とする。</p> <p>(4) 合格基準点について</p> <p>① 芸術・スポーツビジネス専攻 面接の配点の1/3に達しない者は不可とする。</p> <p>② 音楽文化専攻 ソルフェージュ、主実技の各実技検査配点の1/2、面接の配点の1/3に達しない者は不可とする。</p> <p>③美術文化専攻 実技検査、面接の各配点の1/4に達しない者は不可とする。</p> <p>④ スポーツ文化専攻 コースごとに実技検査、面接の各配点の1/3に達しない者は不可とする。</p>
--	--

6 試験日程

一般選抜追試験は以下の日程で実施します。

令和5年3月22日（水）9時00分～17時00分

追試験受験者数により、試験開始時刻や試験終了時刻を変更する場合があります。この場合、志望校（修学校）から事前に連絡します。

なお、芸術・スポーツ文化学科－岩見沢校－音楽文化専攻の志願者は、令和5年3月22日（水）必着で指定の提出物を提出してください。

7 受験上の注意

「2 出願方法等 (2) 受験票の取扱い」に記載のとおり、受験票は一般選抜（前期日程）又は一般選抜（後期日程）と同一の受験票を利用します。追試験の受験が認められた日程の受験票を持参してください。

(1) 追試験受験上の注意事項

ア 試験当日は、「**受験票**」「**大学入学共通テスト受験票**」「**追試験受験許可書**」及び志望校（修学校）から指示されたものを必ず持参してください。

イ 試験開始後、30分以上遅刻したときは、受験を認めません。

ウ 試験に関する具体的な注意事項については、志望校（修学校）から指示があります。

(2) 受験を認めない者

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を目的として、以下に該当する者の受験は認めません。

なお、追試験の際、以下に該当し受験を認められなかった者に対して、追試験や別日程への振替は実施しません。

- ① 新型コロナウイルス感染症にり患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の者
- ② 試験日前日までに保健所等から濃厚接触者に該当するとされる者で、「令和5年度大学入学者選抜に係る新型コロナウイルス感染症に対応した試験実施のガイドライン（令和4年6月3日大学入学者選抜協議会決定）」における受験を認める要件を満たしていない者
- ③ 海外から日本に入国し、入国後の待機期間中にあるもの
- ④ 学校保健安全法施行規則第18条に定める感染症（インフルエンザ等）にかかり、同規則第19条に定める出席停止期間を経過していない者
- ⑤ 38.0度以上の高熱の症状がある
- ⑥ 発熱・咳等の症状があり、試験当日の検温で37.5度以上の熱がある者
- ⑦ 基礎疾患があり追試験の当日に息苦しさ等の症状がある者
- ⑧ 試験当日において、明らかに激しい咳を何度もしていることなど、監督者等により症状が他の受験者に影響があると判断されたが、別室での受験ができない者

(3) 無症状の濃厚接触者（保健所より濃厚接触者に該当すると伝えられた者のほか、試験日前2週間以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域から日本に入国した者を含む。）について

以下のいずれの要件も満たす場合は、受験を認めます。

- ① 初期スクリーニング（自治体によるPCR検査及び検疫所における抗原定量検査）の結果、陰性であること
※ 検査結果が判明するまでは受験を認めません。
- ② 追試験日当日も無症状であること
※ 保健所において濃厚接触者であることやPCR検査の結果が陰性であることを文書等で証明することはないため、入学志願者から無症状の濃厚接触者であることの申告をあらかじめ受け、上記①及び②の要件を満たすことを確認した上で受験を認める（保健所より濃厚接触者に該当すると伝えられた者が対象であり、単に周囲に感染者がいたというだけの者は通常どおりの受験を認める）。
- ③ 公共の交通機関（電車、バス、タクシー、航空機（国内線）、旅客船等）を利用せず、かつ、人が密集する場所を避けて試験場に来場すること
※ 自家用車の他、レンタカーや親戚の車など、無症状の濃厚接触者である志願者とその同乗者が確実に特定できる交通手段を利用すること。
- ④ 終日、別室で受験すること

試験日前日までに保健所等から濃厚接触者に該当するとされた者（試験日前2週間以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域から日本に入国した者を含む。）

は、令和5年3月22日（水）午前8時までに、以下の事項について自署した書面をFAX等で志願する修学校に提出してください。

【申出時に報告が必要な事項】	【各修学校FAX番号・メールアドレス】
<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 受験番号<input type="checkbox"/> 氏名及び緊急連絡先<input type="checkbox"/> 濃厚接触者に該当すると判断した保健所の名称<input type="checkbox"/> 保健所から濃厚接触者に該当すると連絡があった日<input type="checkbox"/> 保健所から健康観察期間として不要不急の外出を控えるよう指示されている期間<input type="checkbox"/> 保健所によるPCR検査の結果又は検疫所による抗原定量検査の結果（一般のクリニック等での検査では受験要件を満たさない。）	札幌校：011-778-8823 g-nyushi●j.hokkyodai.ac.jp 旭川校：0166-59-1226 asa-nyushi●j.hokkyodai.ac.jp 釧路校：0154-44-3227 kus-kyomu●j.hokkyodai.ac.jp 函館校：0138-44-4405 hak-nyushi●j.hokkyodai.ac.jp 岩見沢校：0126-32-0252 iwa-gakumu●j.hokkyodai.ac.jp

※電子メールで書面を送付する場合は、上記メールアドレスの●を@に変更して送信してください。

8 試験会場

志望校（修学校）で受験することとなります。

教員養成課程一札幌校・旭川校・釧路校又は国際地域学科一函館校の前期日程に志願した者のうち、東北会場又は札幌市内会場を試験会場として希望していた場合でも、志望校（修学校）で受験することとなるので、注意してください。

受験する試験会場は、「試験会場位置図」（18ページ）を参照してください。

9 合格者の発表

一般選抜追試験の合格者の発表は以下の日程で実施します。

令和5年3月26日（日）9時00分

合格者の発表は、合格者の受験番号を本学ホームページに掲載します。（合格発表直後は、アクセスが集中してつながりにくい状態になる場合があります。つながらない場合は、しばらく時間を置いてから再度アクセスしてください。）

北海道教育大学ホームページアドレス <https://www.hokkyodai.ac.jp/>

※ 本学のホームページが表示されましたら、ブラウザの更新ボタンを押してから閲覧してください。

10 入学手続

入学手続の詳細（提出書類及び納入金の納入方法等）については、合格通知時にお知らせします。

（1）入学手続期間

令和5年3月26日（日）～3月30日（木） ※ 必 着

入学料等を支払い、必要書類を「書留・速達」便により、入学手続期間内に必ず到着するよう、送付してください。

※ 持参の場合の受付は、午前9時から午後5時までです。（土・日・祝日は除きます。）

（2）提出書類

- ① **大学入学共通テスト受験票**
- ② **追試験受験許可書のコピー**
- ③ 合格通知時に指示した書類

（3）納入金

入学料 282,000円

注1 上記の金額は、現行の金額であり、入学時に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。

注2 入学料は、入学手続期間内に納入してください。

注3 納入した入学料は、返還しません。

注4 入学料については、減免及び徴収猶予の制度があります。詳細は、合格者宛てに別途通知します。

(4) 留意事項

ア 合格者が入学手続き締切期日までに入学手続きを完了しない場合は、入学を辞退したものととして取り扱います。

イ 本学に入学手続きを行った者は、これを取り消して他の国公立大学に入学手続きをすることができません。

また、他の国公立大学に入学手続きをしたときは、これを取り消して本学に入学手続きをすることができません。

11 受験に関する問合せ

受験に関する問合せは、必ず志願者本人が行ってください。(目次の前ページの問合せ先を参照してください。)

12 その他

上記に記載した事項以外については、令和5年度学生募集要項(一般選抜)によります。

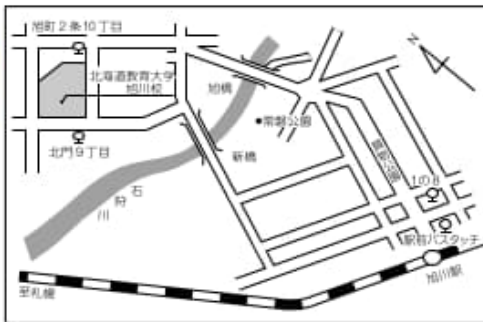
試験会場位置図

札幌校



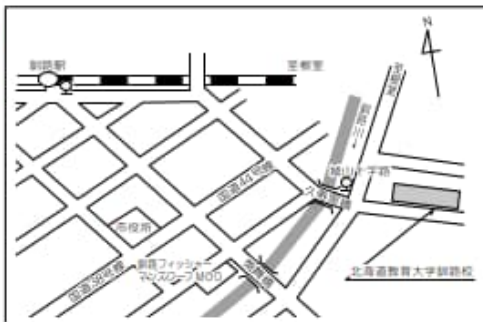
名称 北海道教育大学札幌校
 所在地 札幌市北区あいの里5条3丁目1番5号
 交通案内
 ○JR「学園都市線」の「あいの里教育大駅」から徒歩約20分(約1.4km)
 札幌駅→あいの里教育大駅 約30分
 ○地下鉄-バス
 地下鉄南北線の「麻生駅」から中央バス「麻生あいの里教育大線」で約32分、「あいの里4条5丁目」又は「教育大学前」下車、徒歩2分
 地下鉄東豊線の「栄町駅」から中央バス「栄あいの里教育大線」で約27分、「教育大学前」下車、徒歩2分

旭川校



名称 北海道教育大学旭川校
 所在地 旭川市北門町9丁目
 交通案内
 ○JR旭川駅(駅前バスタッチのりば④)から旭川電気軌道バス(⑤旭町・春光線)で15分、「旭町2条10丁目」下車、徒歩5分
 ○「1条通8丁目(1の8のりば④)」から旭川電気軌道バス(④旭町線)で15分、「旭町2条10丁目」下車、徒歩5分
 ○「1条通8丁目(1の8のりば④)」から旭川電気軌道バス(②新橋・北門線)で15分、「北門9丁目」下車、徒歩5分

釧路校



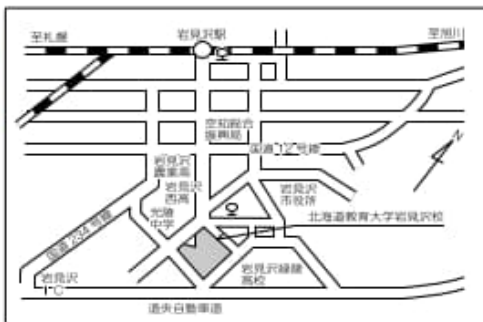
名称 北海道教育大学釧路校
 所在地 釧路市城山1丁目15番55号
 交通案内
 JR「釧路駅」からくしろバス(③武佐線、②別保線)で10分、「城山十字路」下車、徒歩4分

函館校



名称 北海道教育大学函館校
 所在地 函館市八幡町1番2号
 交通案内
 ○JR「函館駅」から函館バス(82系統)で約10分、「宮前町」下車、徒歩10分
 ○JR「函館駅」から函館バス(47系統)で約20分、「教育大通」下車、徒歩10分
 ○函館空港から車で約25分

岩見沢校



名称 北海道教育大学岩見沢校
 所在地 岩見沢市緑が丘2丁目34番地1
 交通案内
 JR「岩見沢駅」から中央バス(かえて団地循環線(東高先回り:系統1)、南町・春日循環線(市役所先回り:系統10)、いわみざわ公園線(系統13)、岩見沢栗山線(教大前経由:系統21))で約10分~15分、「教大前」下車、徒歩2分

※ 運行時刻等は、各自でお調べください。